

# 特別支援学級 道徳科学習指導案

わかあゆ学級（自閉・情緒） 5名

指導者 浜 正弘（T1）

鈴木 千草（T2）

## 1 主題名 すてきな友達

B - (9) 友情・信頼	友達と仲よくし、助け合うこと。
------------------	-----------------

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容について

友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育んでいくことが大切である。自閉・情緒学級の3年生児童は、友達の気持ちを理解したり、自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも少なくない。そこで、友達が自分のことを考えて思いを伝えてくれたことを受け入れることの大切さに気付く、友達と仲よく生活していこうとする実践意欲を育てたいと考え、本主題を設定した。

### (2) 児童の実態

本校の自閉・情緒学級には、5名の3年生が在籍している。明るく元気で、授業の課題をやり遂げようと努力したり、当番活動に真面目に取り組んだりできている。また、自分の思いを素直に伝えることもできている。今後は、自分から友達に声をかけることが苦手な児童や、ルールがある活動に参加したがる児童が、友達と関わる機会を増やしたり、ルールを守りながら活動したりすることができるようになってほしい。道徳科の学習で、友達のことを思って温かい言葉をかけることに大切さについて学習してきた。本時の学習を通して、友達が自分のことを考えて思いを伝えてくれたことを受け入れる大切さに気付く、仲よく助け合って生活していこうとする実践意欲を育てたい。  
※「個別の児童の実態」は別紙記載。

### (3) 教材について

（教材名「ギギはおこりんぼう？」）

出典：NHK for school 銀河銭湯パンタくん  
パンタは、自分と一緒に「びっくり作戦」をしない者は友達ではないと考えていた。しかし、ピエールさんやギギの言動から、楽しいことを一緒にするだけではなく、「いけないことを注意し合えるのも友達だ」と気付いた。そして、自分の言動を振り返り、謝ることができた。  
ピエールさんやギギの友達のことを思った言動に注目し、パンタの気持ちが変容した理由を考える活動を通して、友達のことを考えて自分の思いを伝えるのもすてきな友達であることに気付かせたい。また、生活の中で友達が自分のことを考えて思いを伝えてくれる場面を想定し、どのような思いをもっているかを考える活動を通してねらいとする価値に迫りたい。

### (4) 主体的に考え、伝え合い、響き合うための工夫

日頃より児童には、友達を励ますことや友達が努力していることを認めたり、友達に素直に謝ったりすること等、友達のことを考えて思いを伝えられることを友達のよさと捉え、「キラキラしているところ」として伝えてきた。導入では、「キラキラしているところ」をこれまでの生活場面の写真を見せて想起することができるようにし、道徳的価値への方向付けをする。展開では、動画を区切って視聴させた上で、場面絵や台詞を提示して内容を可視化することで、パンタや彼の友達の気持ちを考えられるようにする。そして、パンタの気持ちが変容した理由やギギはおこりんぼうかを考える際にペアトークを行い、友達の意見と似ているか、異なるかを顔マークで示し、自分の考えを広げながら道徳的価値に迫ることができるようにする。また、パンタの「キラキラしているところ」を考えることで、自分の生活を振り返り、友達の思いに気付くことができるようにする。